

研究課題：腹部手術後の横隔神経麻痺についての後ろ向き研究

1. 研究の目的

腹部手術後の横隔神経麻痺について関連する因子や画像所見、経過を明らかにします。

手術後の横隔神経麻痺は、横隔神経が、胸郭内を走行していることから、胸郭、心臓の手術においてよく知られた合併症です。一方で、腹部手術においても起こりうる合併症として報告されています。横隔神経麻痺は横隔膜の麻痺につながり、抜管困難や、呼吸機能の悪化などを来し、患者の入院期間の延長や退院後の生活に影響する病態です。そのため、手術後の早期の発見が重要です。腹部手術後の横隔神経麻痺は、症例報告はなされていますが、まとまった報告は少ないです。今回、腹部手術後の横隔神経麻痺の症例の頻度や関連する因子、画像所見や経過を検討します。関連する因子や経過が明らかになることによって、より診断が容易に、そして、より正確な予後予測が可能となると考えられます。

2. 研究の方法

2006年9月から2022年2月までの腹部手術が行われた患者の臨床情報、治療法、画像所見などから横隔神経麻痺の有無を後方視的に調べ、関連する因子、経過を調べます。

3. 研究期間

2022年3月（倫理委員会で承認を得られた日）から2022年12月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

臨床情報と画像検査、その後の経過に関する事柄（画像、検査所見、治療方法、臨床所見）を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：放射線科 医長 細川崇洋
実施分担者：放射線科 副院長 小熊栄二
放射線科 医長 佐藤裕美子
個人情報管理者：放射線科 科長 田波穰

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年8月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）